



バドミントン部 再スタートにあたって

広島工業大学高等学校

教諭 新川 和夫 (左)

教諭 大川 博昭 (右)

はじめに

広島工大高校バドミントン部は、6月30日現在、2年生10名、1年生15名の合計25名の部員で活動しています。毎日、放課後、夕方18時半頃まで練習しています。ここ2～3年は、入部者のほとんどが、バドミントン未経験者であることもあり、1学期の練習メニューは、より初歩的なものが中心です。

県大会での過去最高の成績は、学校対抗戦・個人戦ともにベスト8です。最近では、初戦負けも多々あります。実績は、決して芳しいものではありませんが、練習場所や技術面で負けていても、試合会場での態度や試合中のマナーでは、決して引けを取らないように指導してきたつもりです。バドミントンは紳士淑女のスポーツとよくいわれます。試合に勝ちさえすればよいというものではありません。勝つにしても負けるにしても、マナーに

おいては、他校に劣らないよう心掛けています。

バドミントン部の生い立ち

広島工大高校バドミントン部は、平成3年に創部しました。当時、本校の共学化が持ち上がり、新たに入学してくる女子生徒の受け皿のひとつとして、バドミントン部が必要とされたことが、創部の大きな原因だったと記憶していますが、結局共学は実現しませんでした。しかし、バドミントン部の活動は継続し、その後、部員6名による2年間近くの「愛好会」時代を経て、平成4年同好会になり、その4年後の平成8年クラブに昇格し、現在に至っています。練習場所は、活動開始当初は、広島市西区スポーツセンターを利用していました。広島市佐伯区スポーツセンター(以下佐伯区S.C.)完成後は、そこを中心に活動してきました。週3日程度、スポーツセンターを利用し、

残りは校内で筋トレ中心の練習を続けてきました。平成6年頃には、新体育館の建設案が発表され、クラブとしても多少の期待がありました。残念ながら実現には至りませんでした。

佐伯区S.C.は、室内の広さ・明るさ等々、施設面では、申し分のない環境でしたが、利用時間に制限があることが難点の一つでした。とくに、夏休み中は、1時間くらい経過して、やっと練習の調子が上がってきたところに、「1番コートの〇〇さん、受付にお戻りください」という無情のアナウンスが聞こえてきます。そこで、一旦室外へ出て、1時間程度待ったあとに、また、コートに入るわけですが、日によっては、1時間以上待ってもコートに入れないこともあります。そうなると、モチベーションはどうしても下がってしまいます。また、何でも同じことだと思いますが、ただシャトルを打つだけがバドミントンではありません。本来ならば、練習前に、ネットを張り、練習が終われば、ネットを片付け、床にモップを掛けるなどのあと片付けをすることも、練習の一環として大切なことですが、それをする必要がないことは、学校のクラブ活動としては、むしろマイナスです。

新しいスタート

佐伯区S.C.を主な練習場として、約15年間活動を続けてきましたが、平成19年3月、本校に、新体育館、鶴学園50周年記念メモリアルスポーツセンター(以下MSC)が完成し、バドミントン部に大きな転機をもたらした



▲体育館での練習風景

ました。そのとき、関係クラブ間の協議により、バドミントン部は、週1回、MSCを、残りは旧体育館(以下体育館)を使用できるようになりました。新たに、ネットやボールを揃えて貰い、校内で毎日練習ができることになりました。但し、備品の移動その他のことを考え、練習はすべて、体育館を使用することにしました。また、用具の整備とともに、クラブ顧問も2人にして貰うことができ、練習環境が整いました。現在は、体育館をバドミントン部単独で使用し、練習を行っています。かつてのスポーツセンター時代と比べると、周囲を気にせずに練習することができ、素晴らしい環境です。とくに試合前日のスポーツセンターは、高校生であふれ、練習ができないことが多かったのですが、その点でも現在の環境は最高です。

今後の課題

試合で勝つことも、当然大切な目標

れをとっても、彼らの礼儀正しさは、見ていてとても心地よいものです。強豪校に試合で勝つことは一朝一夕にはいきません。勝ち負けにこだわることも大切ですが、それ意外にも、今できることはまだまだあります。その辺りを一人一人に意識させること、まずはそこからという思いです。

最後に

一昨年まで、練習場所に困っているということで、練習試合や合同練習に誘ってくださった、近隣の高校の先生方には感謝しています。中でも広島高校(現広島なぎさ高校)の田中先生(旧姓 西原)をはじめとする諸先生方やバドミントン部の生徒には心から感謝しています。ありがとうございました。



県総体・学校対抗戦、城北高校にて▲



▲コート作り